

平成28年度 多摩区区民意識アンケート調査 【概要版】

《 主要な調査項目 》

- 生活環境の満足度について
- 市政への参加、地域でのボランティア活動などについて
- 区役所が推進する主な取組について

《 性別 》

	基 数	構 成 比
1. 男性	342人	41.9%
2. 女性	460人	56.3%
(不明・無回答)	15人	1.8%
合 計	817人	100.0%

《 居住年数 》

	基 数	構 成 比
1. 3年未満	76人	9.3%
2. 3～10年未満	135人	16.5%
3. 10～20年未満	165人	20.2%
4. 20年以上	425人	52.0%
(不明・無回答)	16人	2.0%
合 計	817人	100.0%

《 世帯人数 》

	基 数	構 成 比
1. 1人(ひとり暮らし)	116人	14.2%
2. 2人	243人	29.7%
3. 3人	199人	24.4%
4. 4人	165人	20.2%
5. 5人以上	67人	8.2%
(不明・無回答)	27人	3.3%
合 計	817人	100.0%

《 居住地区 》

	基 数	構 成 比
1. 登戸地区	94人	11.5%
2. 菅地区	160人	19.6%
3. 中野島地区	92人	11.3%
4. 稲田地区	166人	20.3%
5. 生田地区	295人	36.1%
(不明・無回答)	10人	1.2%
合 計	817人	100.0%

《 性年代別 》

	全 体		男 性		女 性		不明・無回答	
	基 数	構 成 比	基 数	構 成 比	基 数	構 成 比	基 数	構 成 比
1. 18～29歳	79人	9.7%	31人	9.1%	47人	10.2%	1人	6.7%
2. 30～39歳	116人	14.2%	44人	12.9%	72人	15.7%	0人	0.0%
3. 40～49歳	149人	18.2%	68人	19.9%	81人	17.6%	0人	0.0%
4. 50～59歳	156人	19.1%	66人	19.3%	90人	19.6%	0人	0.0%
5. 60～69歳	140人	17.1%	62人	18.1%	72人	15.7%	6人	40.0%
6. 70歳以上	168人	20.6%	69人	20.2%	96人	20.9%	3人	20.0%
(不明・無回答)	9人	1.1%	2人	0.6%	2人	0.4%	5人	33.3%
合 計	817人	100.0%	342人	100.0%	460人	100.0%	15人	100.0%

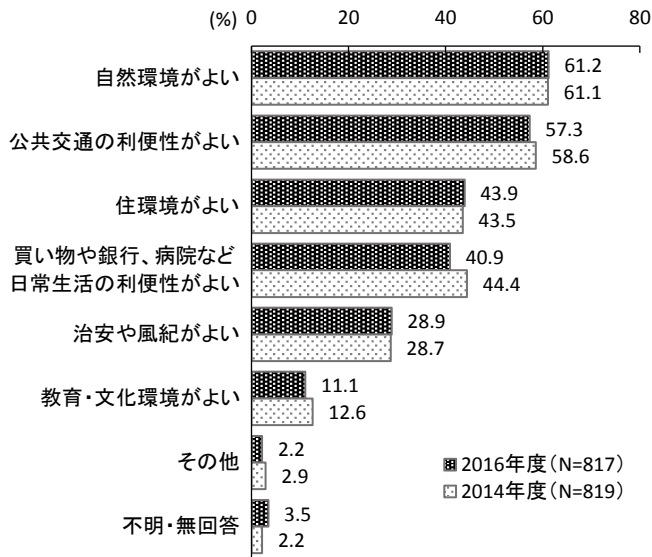
調査概要

- ◇ 調査の対象者 : 多摩区在住の18歳以上の男女個人(外国人を含む)
- ◇ 標 本 数 : 2,000人
- ◇ 有効回収 : 817人(40.9%)
- ◇ 標本抽出方法 : 住民基本台帳に基づく層化二段無作為抽出
- ◇ 調査方法 : 郵送法(郵送配布・郵送回収)
- ◇ 調査期間 : 平成28年10月15日(土)～11月21日(月)
- ◇ 調査委託機関 : 株式会社 総合企画



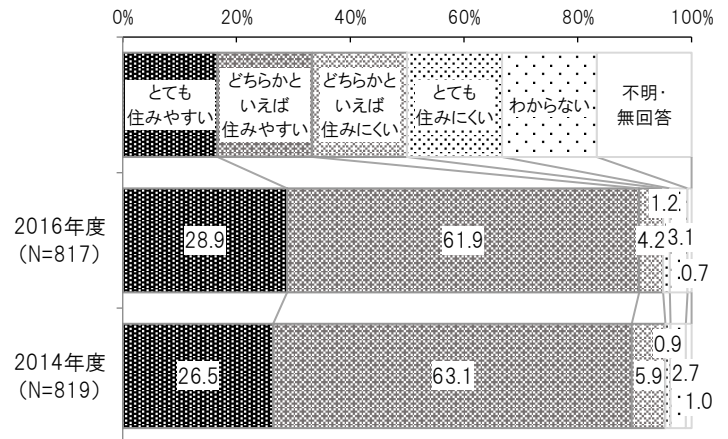
生活環境の満足度について

1 多摩区の長所・魅力



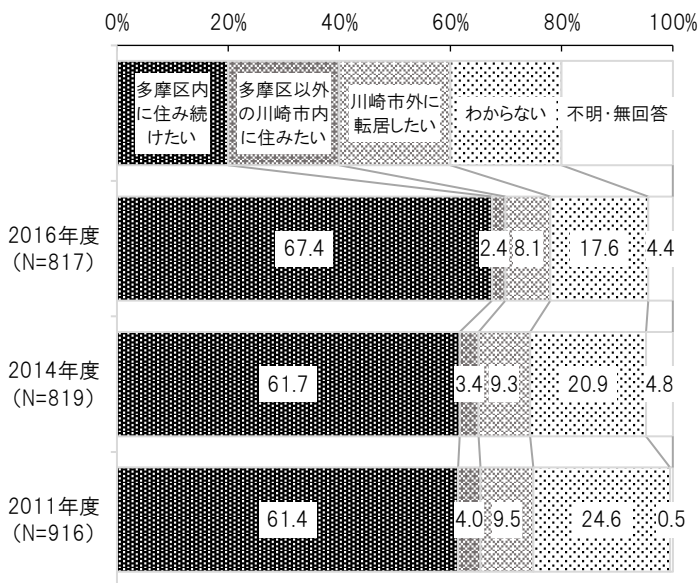
「多摩区の長所・魅力」について聞いたところ、「自然環境がよい」(61.2%)が最も高い結果となり、次いで「公共交通の利便性がよい」(57.3%)と上位2項目が50%を超える高い結果となった。

2 住みやすさ



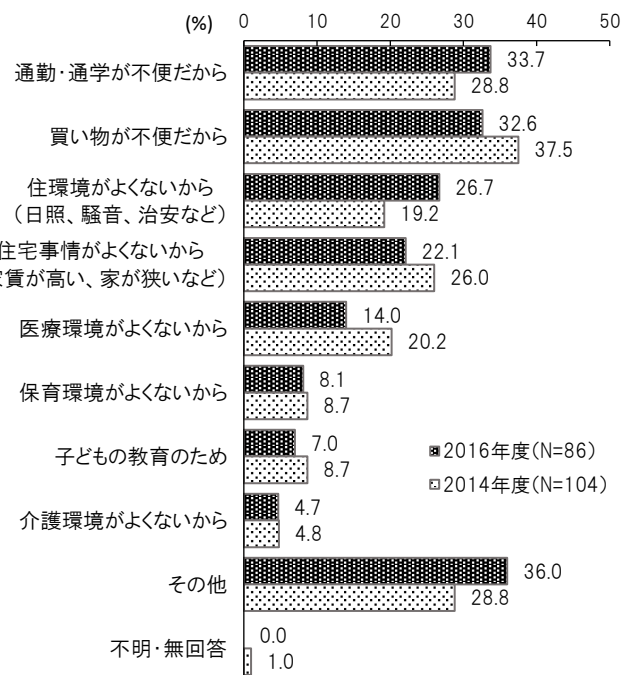
「住みやすさ」について聞いたところ、「どちらかといえば住みやすい」(61.9%)、「とても住みやすい」(28.9%)の順となり、「とても住みやすい」「どちらかといえば住みやすい」を合わせた『住みやすい計』(90.8%)が高い結果となった。

3 定住意向

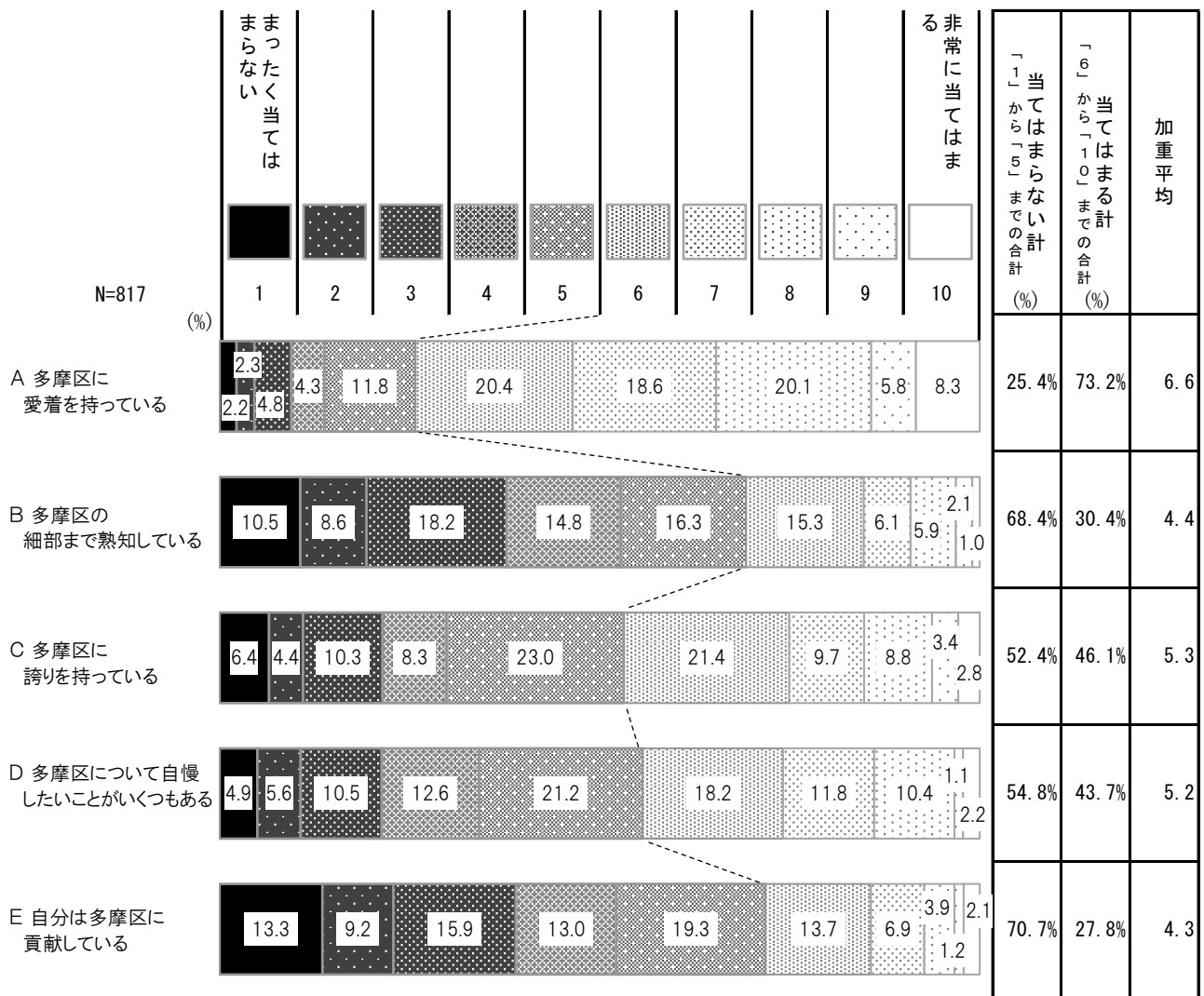


「定住意向」について聞いたところ、「多摩区内に住み続けたい」(67.4%)が最も高い結果となった。

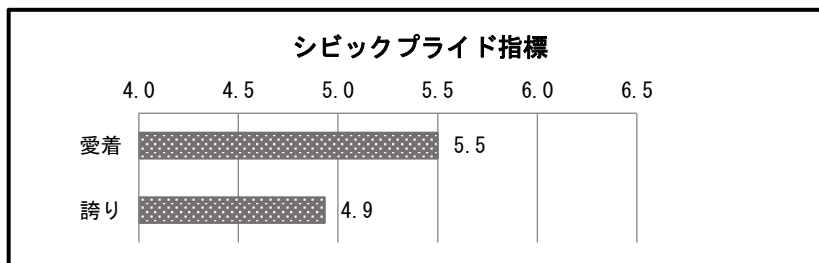
4 区外転居意向の理由



(3)の定住意向で「多摩区以外の川崎市内に住みたい」、「川崎市外に転居したい」と回答した人に「区外転居意向の理由」について聞いたところ、「通勤・通学が不便だから」(33.7%)が最も高く、次いで「買い物が不便だから」(32.6%)、「住環境がよくないから(日照、騒音、治安など)」(26.7%)の順となった。

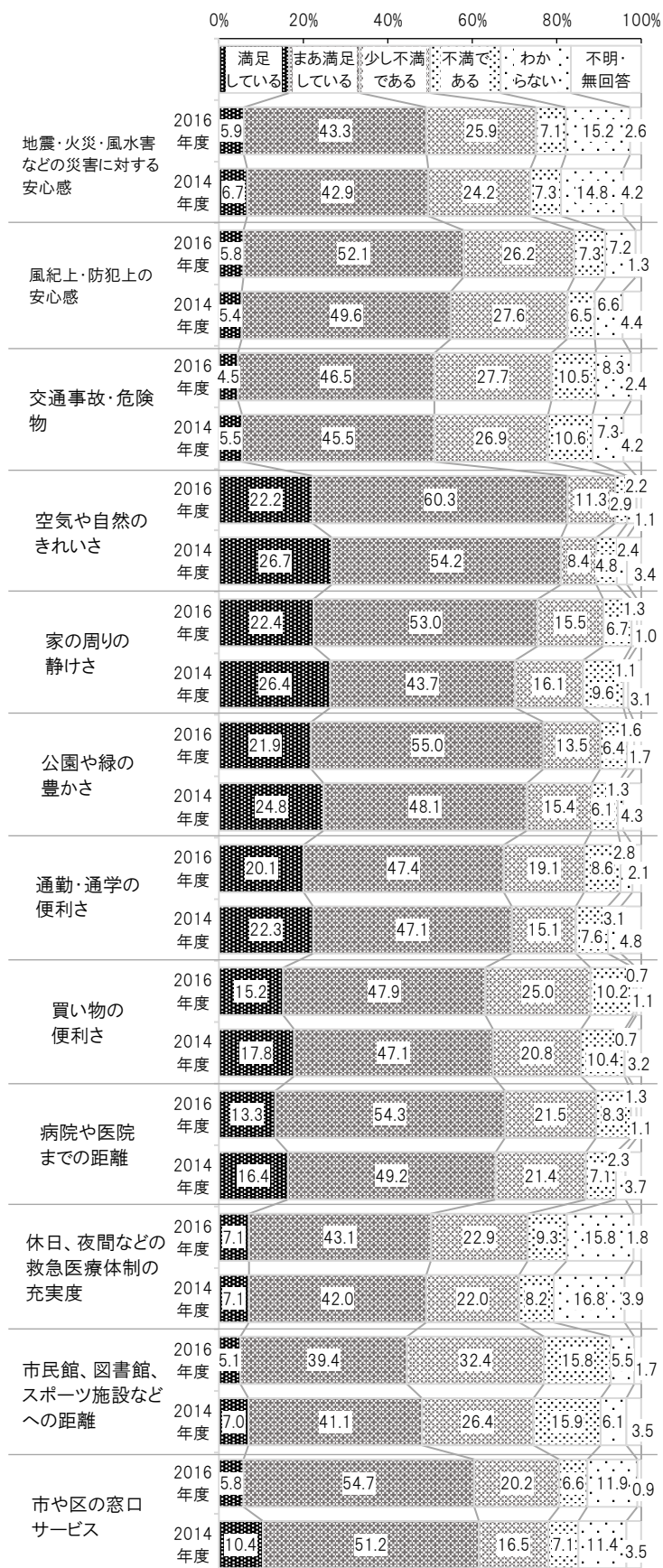


「6」から「10」までを『当てはまる計』とすると、他の項目に比べ、「A 多摩区に愛着を持っている」(73.2%)が最も高かった。一方、『当てはまる計』が最も低かったのが、「E 自分は多摩区に貢献している」(27.8%)となった。

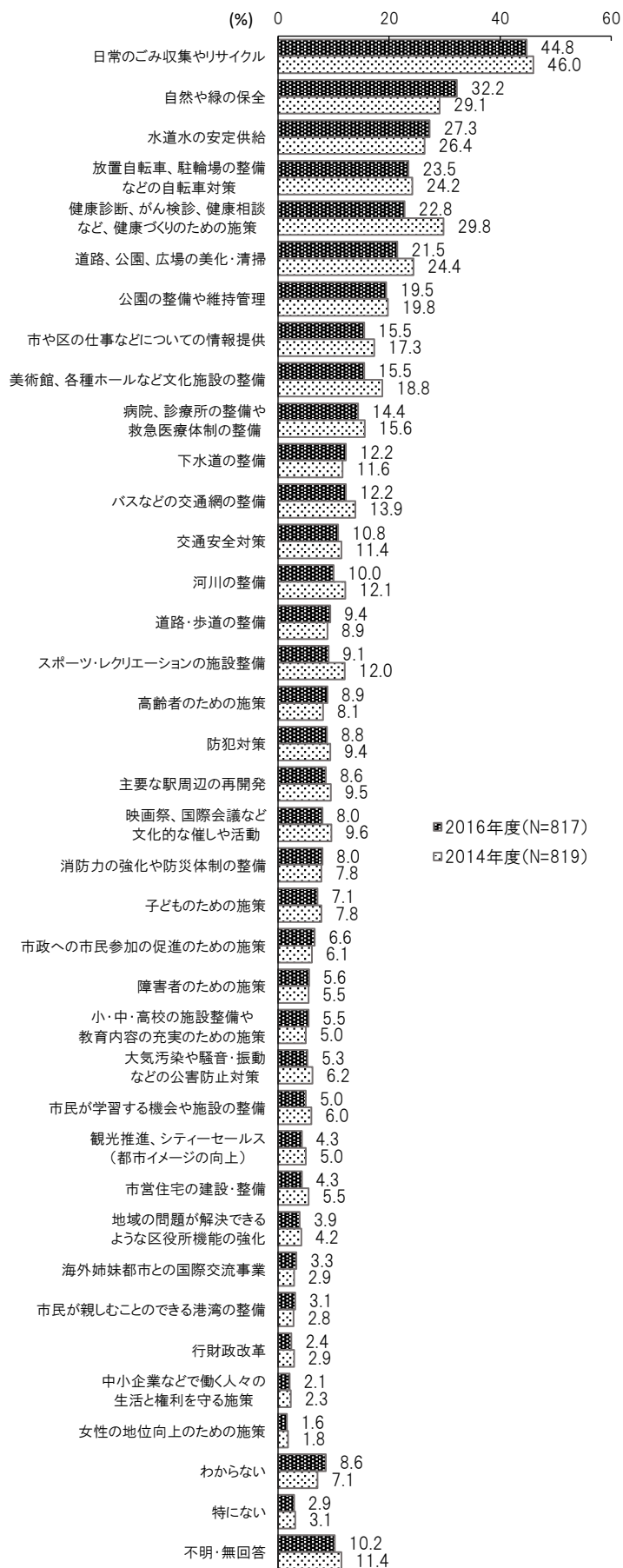


シビックプライド指標とは、自分の住んでいるまちに対する愛着や誇りを表す概念のこと。多摩区では、質問A、Bを「愛着」、質問C、D、Eを「誇り」の指標として、それぞれの質問項目の平均値から算出した。

2016年度 N=817 / 2014年度 N=819

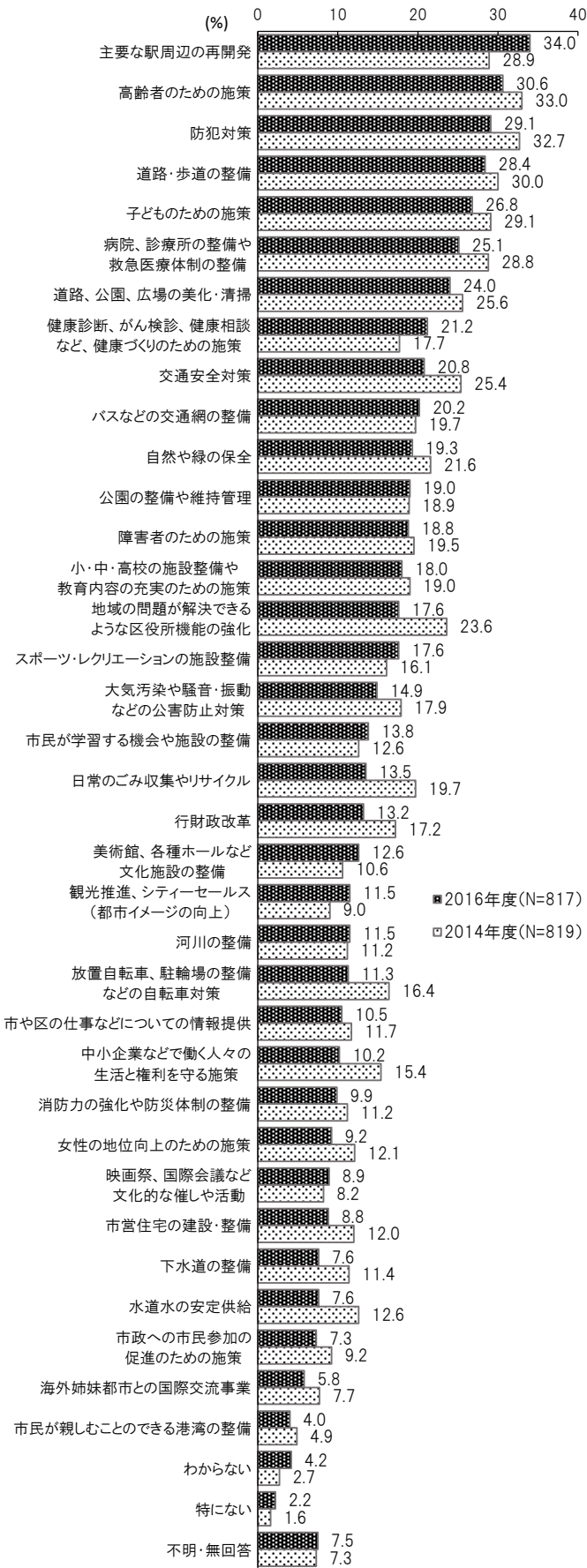


「多摩区の生活環境」について聞いたところ、「満足している」「まあ満足している」を合わせた『満足している計』で、「空気や自然のきれいさ」(82.5%)が最も高く、2014年度と同じ結果となった。



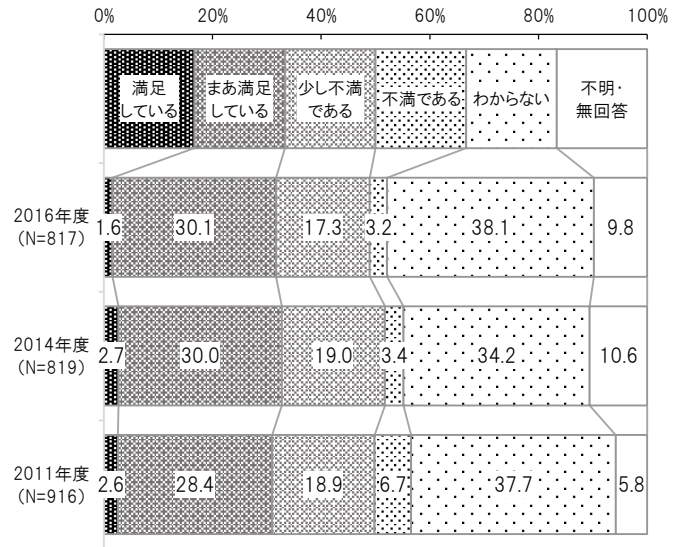
「市政についてよくやっていると思うもの」について聞いたところ、「日常のごみ収集やリサイクル」(44.8%)が最も高く、次いで「自然や緑の保全」(32.2%)、「水道水の安定供給」(27.3%)の順となった。

8 市政について今後特に力を入れてほしいもの



「市政について今後特に力を入れてほしいもの」について聞いたところ、「主要な駅周辺の再開発」(34.0%)が最も高く、次いで「高齢者のための施策」(30.6%)、「防犯対策」(29.1%)の順となった。

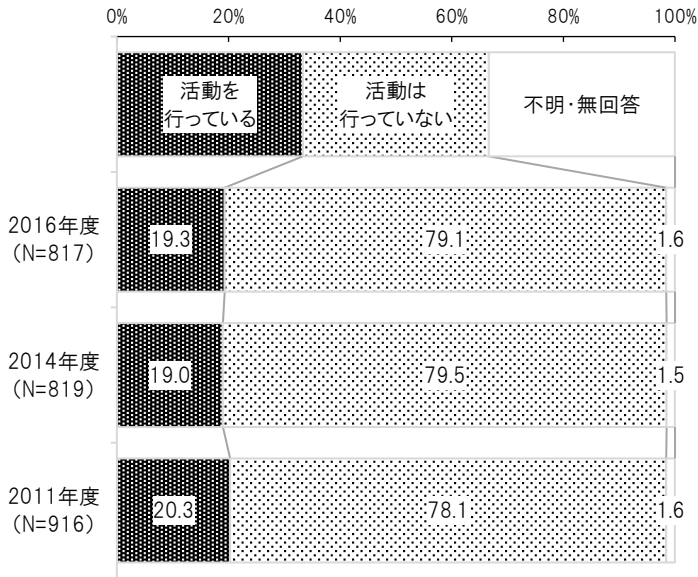
9 市の施策や事業の総合満足度



「市の施策や事業の総合満足度」について聞いたところ、「満足している」と「まあ満足している」を合わせた『満足している計』(31.7%)は、ほぼ全体の3分の1となった。

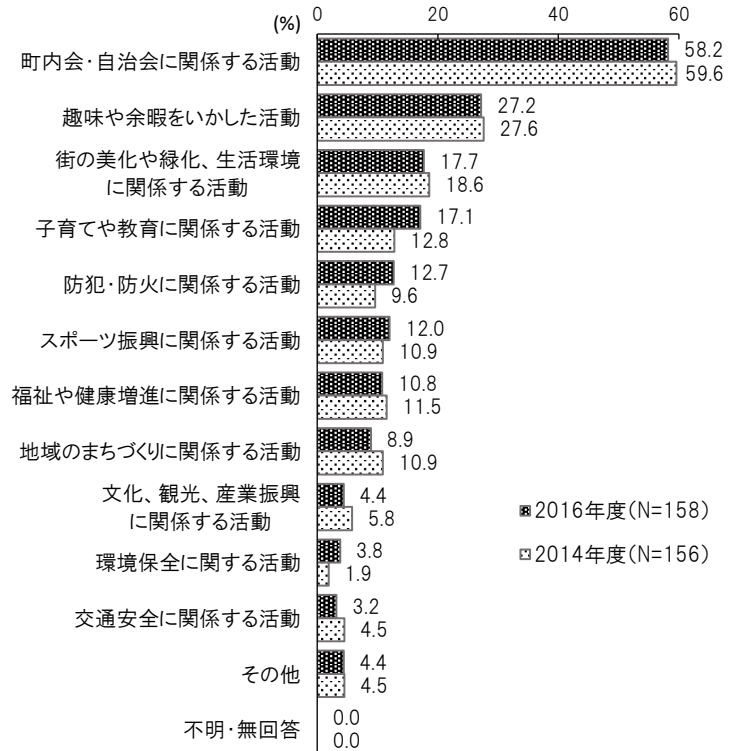
市政への参加、地域でのボランティア活動などについて

10 地域活動の状況



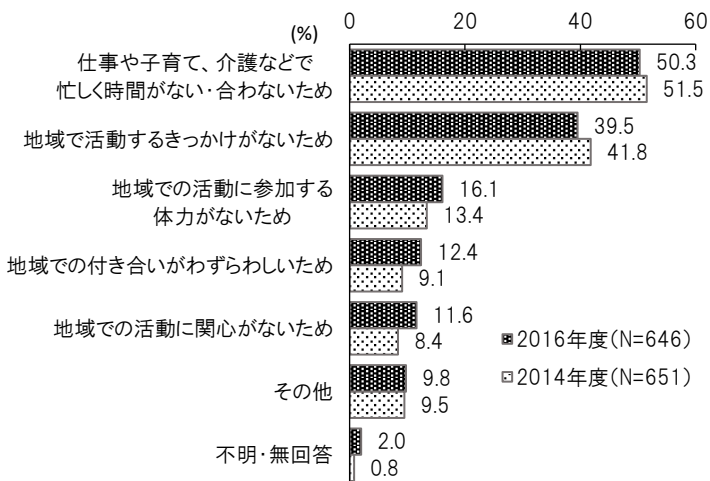
地域活動の状況について聞いたところ、「活動は行っていない」(79.1%)が最も高い結果となった。2011年度、2014年度も、「活動は行っていない」が最も高く、ほぼ変わらない結果となった。

11 行っている地域活動の分野



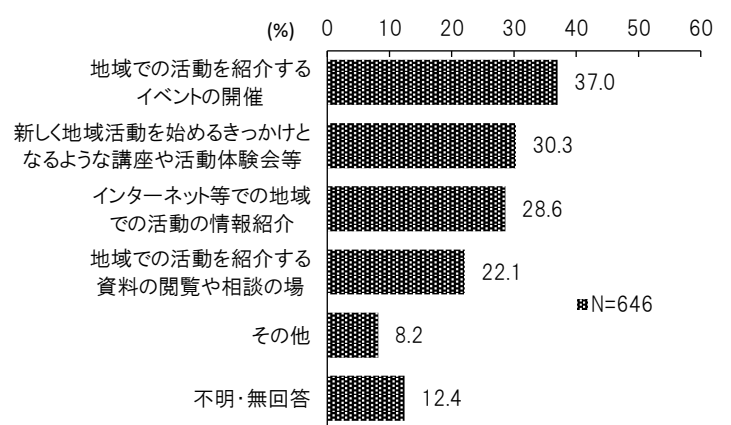
(10)の地域活動の状況で「活動を行っている」と回答した人に、行っている地域活動の分野について聞いたところ、「町内会・自治会に関する活動」(58.2%)が最も高く、次いで「趣味や余暇をいかした活動」(27.2%)、「街の美化や緑化、生活環境に関する活動」(17.7%)の順となった。

12 地域活動を行っていない理由



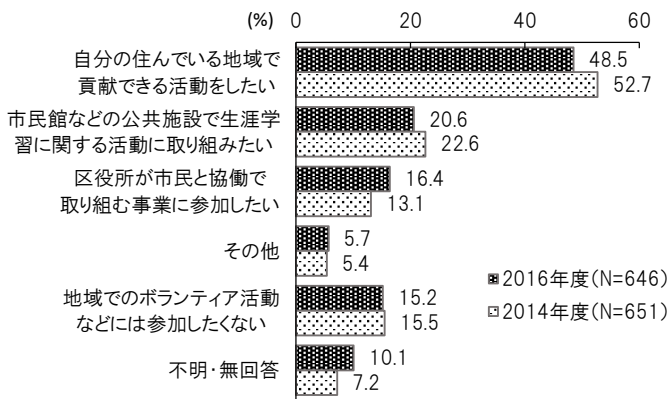
(10)の地域活動の状況で「活動は行っていない」と回答した人に、地域活動を行っていない理由について聞いたところ、「仕事や子育て、介護などで忙しく時間がない・合わないため」(50.3%)が最も高く、次いで「地域で活動するきっかけがないため」(39.5%)、「地域での活動に参加する体力がないため」(16.1%)の順となった。

13 地域活動を始めするために必要な機会や場



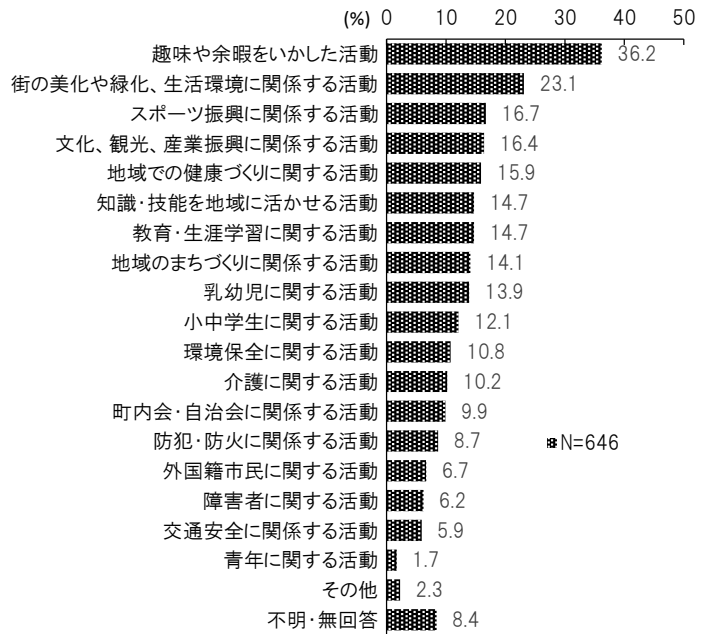
(10)の地域活動の状況で「活動は行っていない」と回答した人に、地域活動を始めするために必要な機会や場について聞いたところ、「地域での活動を紹介するイベントの開催」(37.0%)が最も高く、次いで「新しく地域活動を始めようとするような講座や活動体験会等」(30.3%)、「インターネット等での地域での活動の情報紹介」(28.6%)の順となった。

14 地域活動への取り組み意向



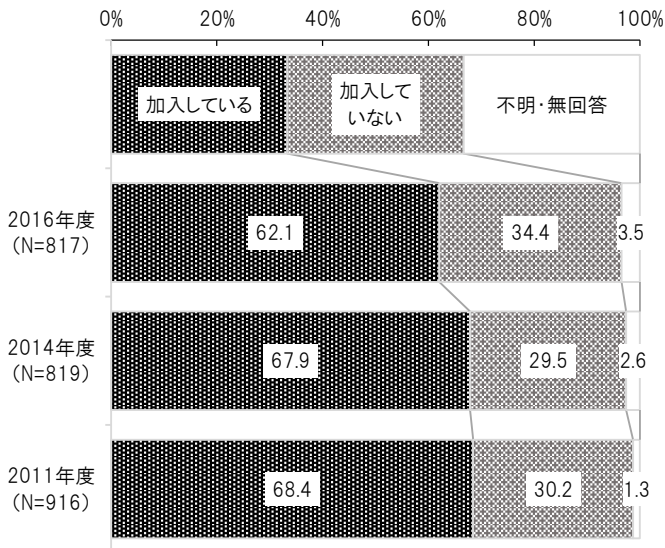
(10)の地域活動の状況で「活動は行っていない」と回答した人に、地域活動への取り組み意向について聞いたところ、「自分の住んでいる地域で貢献できる活動をしたい」(48.5%)が最も高く、次いで「市民館などの公共施設で生涯学習に関する活動に取り組みたい」(20.6%)、「区役所が市民と協働で取り組む事業に参加したい」(16.4%)の順となった。

15 地域活動への関心分野



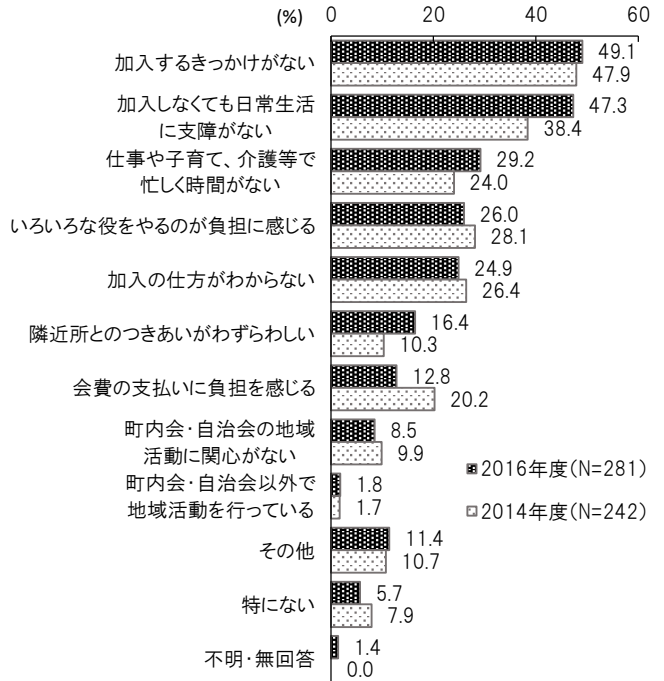
「地域活動への関心分野」について聞いたところ、「趣味や余暇をいかした活動」が36.2%と最も高い結果となった。次いで、「街の美化や緑化、生活環境に関する活動」(23.1%)、「スポーツ振興に関する活動」(16.7%)、「文化、観光、産業振興に関する活動」(16.4%)、「地域での健康づくりに関する活動」(15.9%)の順となった。

16 町内会・自治会への加入状況

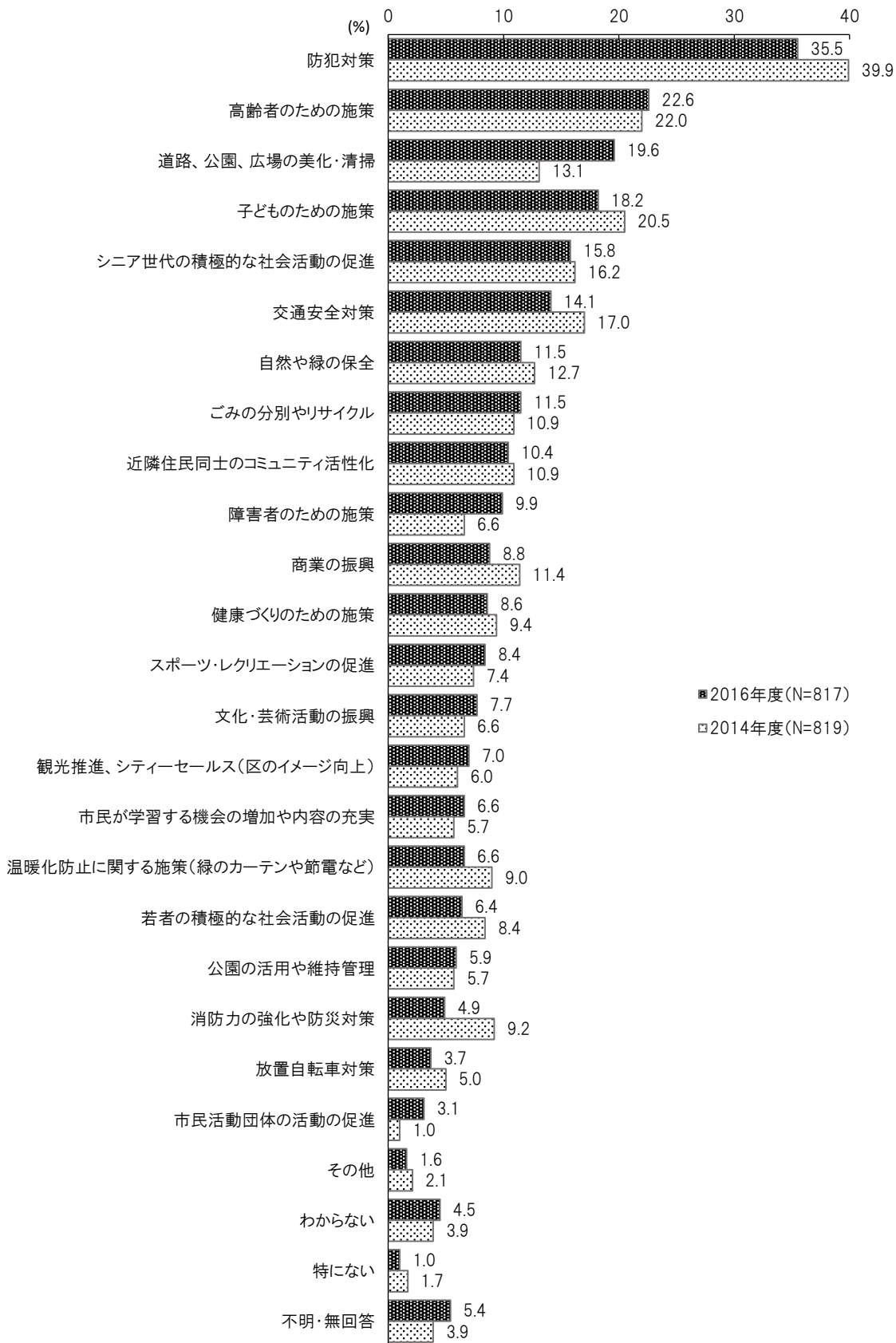


「町内会・自治会への加入状況」について聞いたところ、「加入している」(62.1%)が最も高い結果となった。2014年度も、「加入している」(67.9%)が最も高かったが、2016年度は5.8ポイント減少した。

17 町内会・自治会に加入していない理由



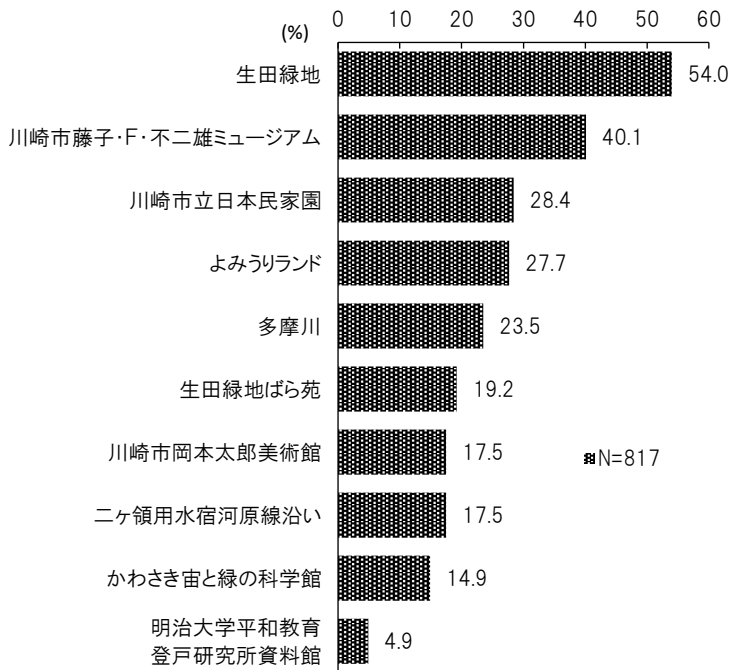
(16)の町内会・自治会への加入状況で「加入していない」と回答した人に町内会・自治会に加入していない理由について聞いたところ、「加入するきっかけがない」(49.1%)が最も高い結果となり、次いで「加入しなくても日常生活に支障がない」(47.3%)、「仕事や子育て、介護等で忙しく時間がない」(29.2%)の順となった。



「区民と行政が協働して取り組んだほうが効果的だと思うもの」について聞いたところ、「防犯対策」(35.5%)で最も高い結果となり、次いで「高齢者のための施策」(22.6%)、「道路、公園、広場の美化・清掃」(19.6%)の順となった。トップの「防犯対策」は、2014年度と比較して4.4ポイント減少する結果となった。

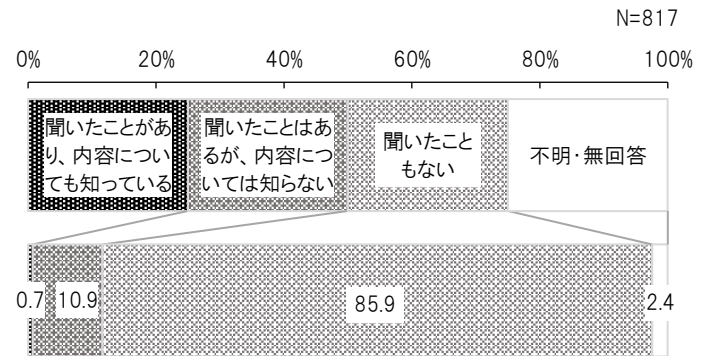
区役所が推進する主な取組について

19 多摩区の見どころ<上位10項目>



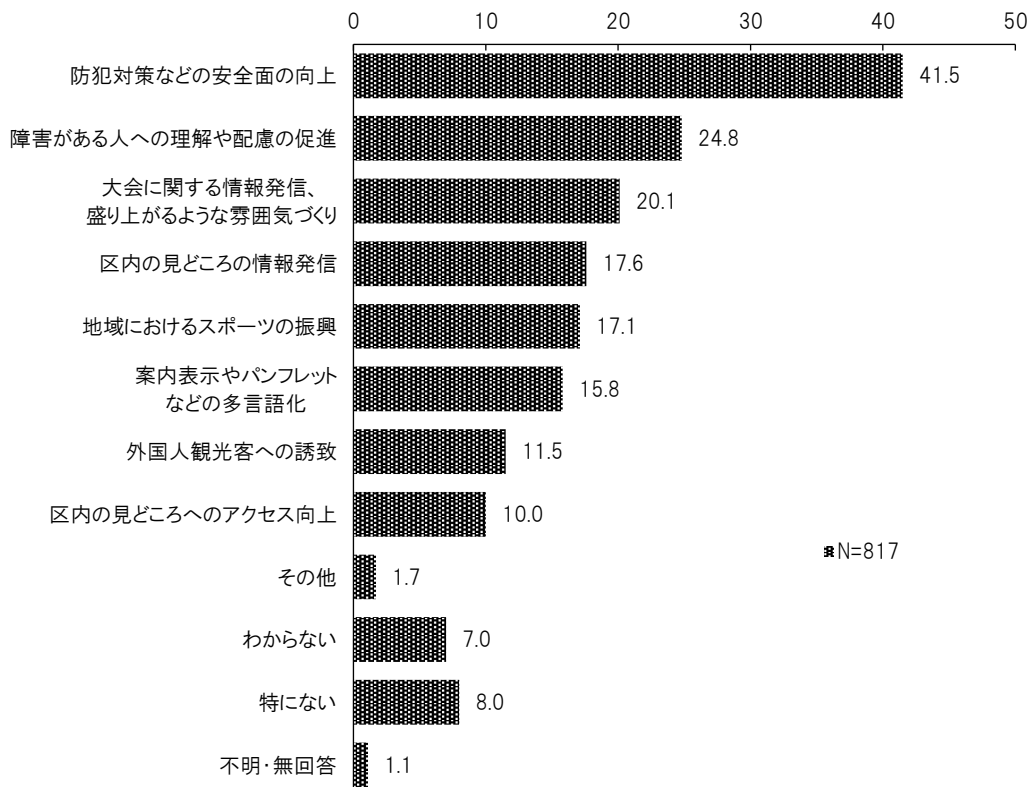
「多摩区の見どころ」について聞いたところ、「生田緑地」(54.0%)が半数を超え最も高く、「川崎市藤子・F・不二雄ミュージアム」(40.1%)、「川崎市立日本民家園」(28.4%)の順となった。

20 「ピクニックタウン多摩区」の認知状況



「ピクニックタウン多摩区」の認知状況について聞いたところ、「聞いたこともない」(85.9%)が最も高く、次いで、「聞いたことはあるが、内容については知らない」(10.9%)、「聞いたことがあるが、内容についても知っている」(0.7%)の順となった。

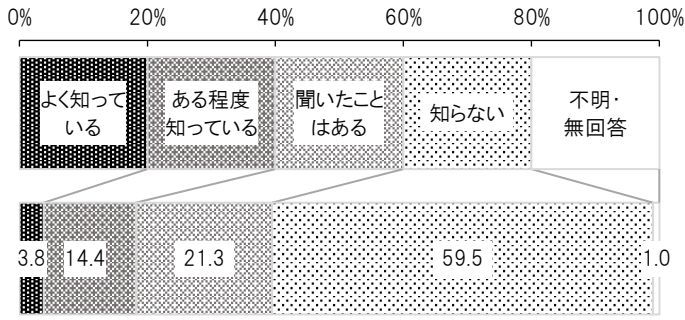
21 「2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会」に向けて必要な取組



「2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会」に向けて必要な取組について、上位2つまで聞いたところ、「防犯対策などの安全面の向上」(41.5%)が最も高く、次いで「障害がある人への理解や配慮の促進」(24.8%)、「大会に関する情報発信、盛り上がるような雰囲気づくり」(20.1%)の順となった。

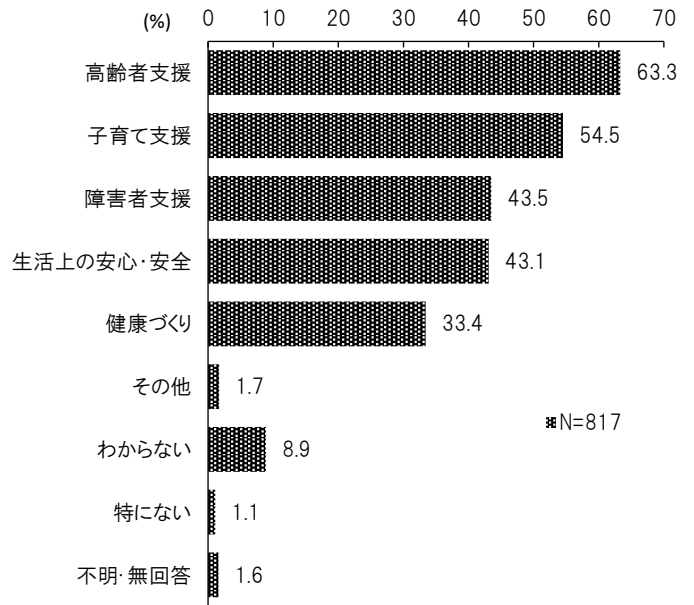
22 「地域包括ケアシステム」の認知状況

N=817



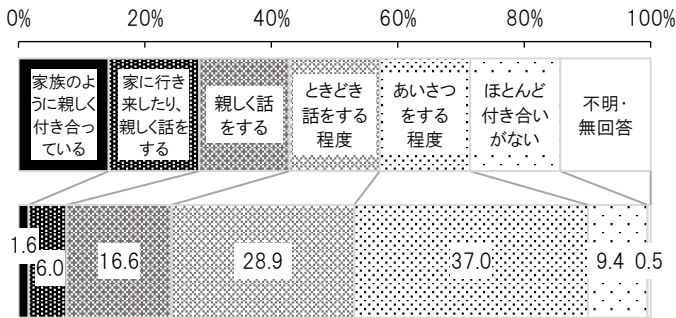
「地域包括ケアシステム」の認知状況について聞いたところ、「知らない」が59.5%と最も高い結果となった。次いで「聞いたことはある」(21.3%)。「ある程度知っている」(14.4%)、「よく知っている」(3.8%)の順となった。

23 「地域包括ケアシステム」で取り組むべき分野



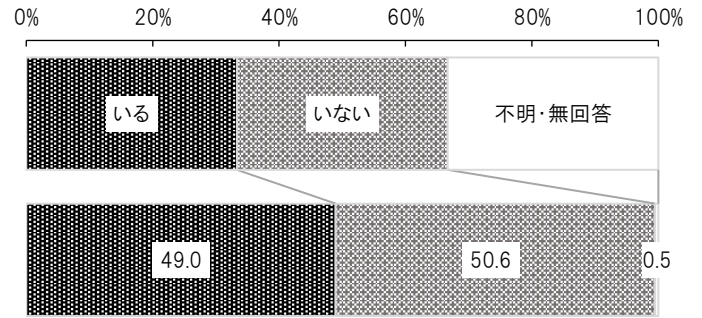
「地域包括ケアシステム」で取り組むべきだと思うものについて聞いたところ、「高齢者支援」が63.3%と最も高く、次いで「子育て支援」(54.5%)、「障害者支援」(43.5%)、「生活上の安心・安全」(43.1%)の順となった。

24 近所付き合いの程度



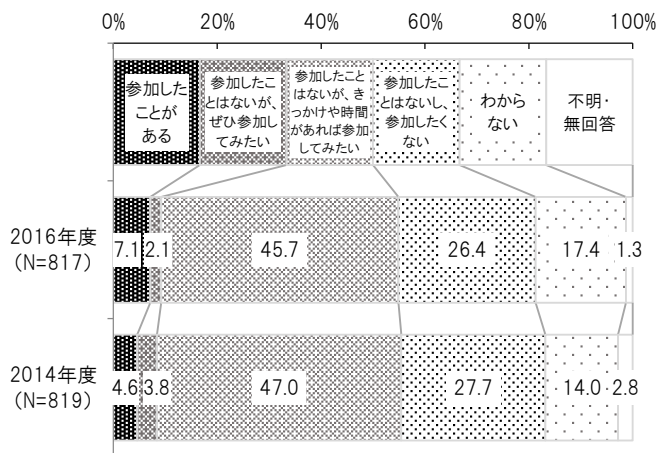
近所付き合いの程度について聞いたところ、「あいさつをする程度」(37.0%)が最も高く、次いで、「ときどき話をする程度」(28.9%)、「親しく話をする」(16.6%)の順となった。

25 近所に手助けを頼める人の有無



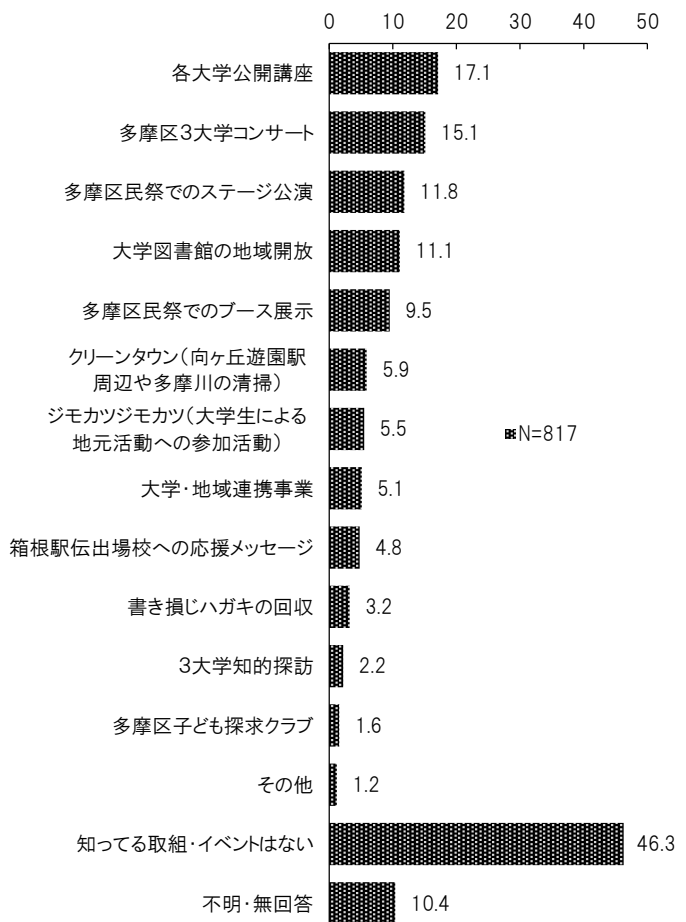
近所に手助けを頼める人の有無について聞いたところ、「いない」が50.6%、「いる」が49.0%と、ほぼ同じ割合となった。

26 地域の健康づくり活動への参加経験と参加意向



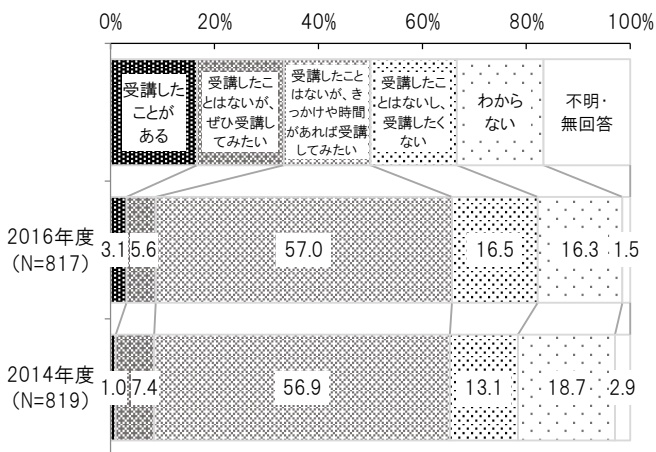
「みんなの公園体操」・「いきいき体操」・「健康ウォーク」への参加状況と参加意向について聞いたところ、「参加したことはないが、きっかけや時間があれば参加してみたい」(45.7%)が最も多く、次いで「参加したことはないし、参加したくない」(26.4%)、「わからない」(17.4%)の順となった。

28 知っている3大学関連イベント

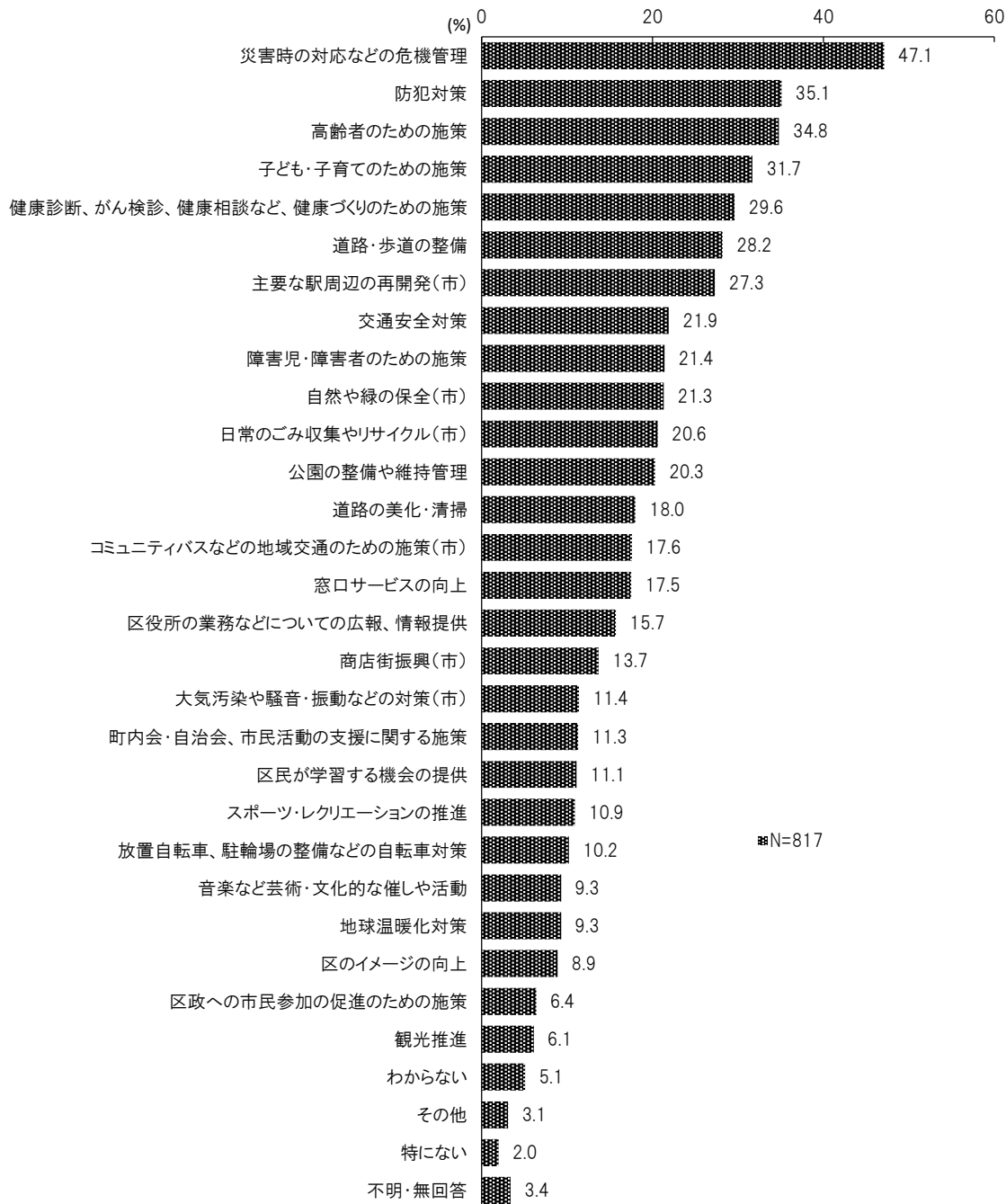


「知っている3大学関連イベント」について聞いたところ、「知ってる取組・イベントはない」が46.3%と最も高い結果となった。次いで「各大学公開講座」(17.1%)、「多摩区3大学コンサート」(15.1%)、「多摩区民祭でのステージ公演」(11.8%)、「大学図書館の開放」(11.1%)の順となった。

27 「認知症サポーター養成講座」の受講経験と受講意向



「認知症サポーター養成講座」の受講経験と受講意向について聞いたところ、「受講したことはないが、きっかけや時間があれば受講してみたい」(57.0%)が最も多く、次いで「受講したことはないし、受講したくない」(16.5%)、「わからない」(16.3%)の順となった。



区役所が力をいれて取り組むべき施策について聞いたところ、「災害時の対応などの危機管理」(47.1%)が最も高い結果となり、次いで「防犯対策」(35.1%)、「高齢者のための施策」(34.8%)の順となった。



平成28年度 多摩区区民意識アンケート 概要版 [2017年3月]

川崎市多摩区役所 まちづくり推進部 企画課

〒214-8570 神奈川県川崎市多摩区登戸1775-1 電話：044-935-3140



Colors, Future!

いろいろって、未来。

川崎市

多摩区区民意識アンケートの《報告書》《概要版》は、川崎市多摩区ホームページでもご覧いただけます。

ホームページアドレス <http://www.city.kawasaki.jp/tama/>